

発 言 通 告 書 （ 質 問 ）

次のとおり、①. 一般質問 2. 施政方針に対する質問 3. 緊急質問) の通告をいたします。

平成 19年 6月 日

富士市議会議長様

富士市議会議員 小池 智明 印

受 付 No. 平成 年 月 日 午(前・後) 時 分 受理者

(小池智明議員 2 -1)

発言項目	公園・緑地の整備について	
要 旨 (具体的に記入してください)	答弁を求める者	
<p>公園・緑地などの市街地のオープンスペースは、レクリエーションやスポーツ、自然とのふれあい、交流などの場として、また地震などの災害時の避難場所として、都市の骨格を形成するとともに豊かな市民生活を支える空間である。</p> <p>財政的に厳しい中であっても、重要な社会資本として総合的、計画的に整備、確保していくべき必要があると考える中で、以下の3点について質問する。</p> <p>(1) 都市公園の整備計画に関する全市的な進捗状況と今後の整備の基本的な考え方</p> <p>(2) 公園空白地域である今泉北部、石坂、伝法地区の公園整備予定(特に、舟久保公園、石坂公園)</p> <p>(3) 水道施設である泉ヶ丘配水地敷地の公園的整備、活用(提案)</p>	<p>市長及び担当部長</p>	

発言項目	地下水、湧水の保全について	
	要 旨 (具体的に記入してください)	答弁を求める者
	<p>豊富な地下水、湧水は、富士市の生活、産業などを支える最大の基盤である。</p> <p>この地下水、湧水を安定的に維持、保全していく上では、水源涵養地帯である富士山麓の健全な森林づくりや、遊水池、河川などの保全対策を進めることが重要である。</p> <p>それには受益者である市民・企業なども、富士山麓の水循環のしくみを理解した上で、森林づくりや地下水、湧水の保全に関し、何らかの形で関わっていくことが必要と考える。</p> <p>こうした考えの中で、以下の2点について質問する。</p> <p>(1)「森林づくり県民税」を踏まえた「富士山の恵み創造基金」についての考え方</p> <p>(2) 制水工を活用した水循環に関する環境教育、意識啓発の積極的な展開 (提案)</p>	市長及び担当部長